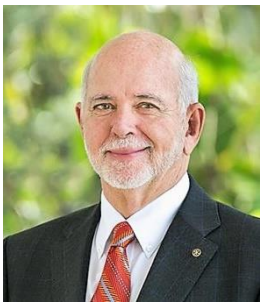
国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata
八街ロータリークラブ週報
http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/
例会場 八街商工会議所 3階 大ホール
毎週水曜日 12:30～13:30
電 話 043 - 443 - 3021
FAX 043 - 443 - 7221
創立 1966年(昭和41年)5月22日



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン
East Nassau RC(バハマ)

会長 山本 和男 ・ 会長エレクト 増田 繁 ・ 副会長 木村 利晴 ・ 幹事 増田 繁

第53巻 第17号 通巻 第2541号 2019.3.6発行

第2540回 2019年2月27日例会報告

【出席報告】 SAA 小澤 孝延

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
2/27	30	26	4	86.67		
2/ 6	30	27	4	87.1	1	90.32

会員総数 31名
(名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 5名)
通算出席率82.84%
2/6メークアップ1名・生形会員(米山)

点 鐘 会長 山本 和男

ソ ン グ 奉仕の理想

お 客 様 八街市市長 北村 新司様

【ニコニコボックス】

◇IMお疲れ様でした。 山本 和男会長

◇第15回八街吹奏楽フェスタ無事終わりました。
小澤 孝延会員

【会長挨拶】 会長 山本 和男



こんにちは本日は名誉会員でもあります八街市長の北村新司様にお越し頂いております。公私ともにお忙しいなかお出で頂きありがとうございます。後程ご挨拶をお願い致します。

さて先週はIMということで成田ビューホテルにて開催されましたが、出席率はどこのクラブも悪く年々参加者が減っているように思えます。この日はテレビ番組の主治医の見つかる診療所で人気の診療内科医の姫野友美ドクターの講演で、題名は「生涯を楽しく昼夜共に夫婦仲良く過ごす健康方法」ということで栄養解析栄養の不足によるさまざまな症状が現れ健康をそこなう話をされ、皆さん興味深く聞きいっていました。とりあえず夫婦共に仲良く過ごす健康方法として、まず女性は鉄、男性は亜鉛ということです。どういうことかというと、亜鉛にはセックスミネラルという別名があり、生殖機能に関わる栄養素でもあるそうです。男性に限って前立腺肥大を抑制したり、男性機能の回復もサポートしてくれるようです。鉄が不足すると、記憶力の低下、疲れやすい、肩こりめまい、

たちくらみなど不調のオンパレードになってしまうそうです。私も毎年人間ドックには行ってますが血圧が高いとか肝機能が低下してます。メタボですからもっと運動して痩せなさいと言われてますが、栄養バランスの指導などはされたことはありませんでした。今回の姫野ドクターの話を聞いていると、栄養解析をして頂き、アドバイスを受けたら、悪いところが良くなるのではと感じました。また今回姫野友美著書を4冊も買ってきました。そのなかの一冊に、女の取り扱い説明書という題名の本があり、早速目を通したのですが、この歳になって納得したことがありました。皆さん突然地雷を踏んでしまったかのように妻に怒られたり、不機嫌になられたことはありませんか。それは男性と女性では脳の仕組みが違うのだそうです。そもそも記憶をしておく脳の場所が違うそうで、女性は不平や不満をバケツに、男性はザルのようなものに、しかも上書きされているらしいです。しかし女性の記憶バケツがあふれると、そのしたにタライがありいつになっても忘れることがないらしいです。ですからある時また蒸し返しがあるのだそうです。皆さんこんな経験はありませんか。すべてに説明のつく理由があることがつづられた本でした。興味がある方は私のところに本がありますので読まれてはと思います。

【幹事報告】　幹事　増田　繁



◎地区研修・協議会開催のご案内
日時：2019年４月20日（土）10時点鐘
場所：アパホテル＆リゾート東京ベイ幕張

◎例会変更のお知らせ（成田RC）
3月 8日（金）→移動例会（不二学園）
3月29日（金）→休会

◎受贈週報
・成田RC・成田ｺｽﾓﾎﾟﾘﾀﾝRC・富里RC
・印西RC・白井RC

【寄　　付】



八街市の依頼により榎戸駅の改札斜め前に時計を寄付することになり、山本会長より北村市長に目録を贈呈しました。(総額50万円)

【卓　　話】　八街市市長　北村 新司様

『八街市の情勢について』

ただ今ご紹介いただきました八街市長の北村でございます。

八街ロータリークラブの皆様には、日頃から八街市の市政全般にわたり、多大なるご理解とご協力をいただいております。この場をお借りいたしまして、深く感謝申し上げます。また、この度は、榎戸駅の完成を記念して、貴クラブから時計を寄贈いただきますことに対して、重ねてお礼申し上げます。

さて、私は、昨年１１月の市長選挙において、皆様のご支援をいただき、無投票で、再度、市長の任に就くこととなりました。３期目のスタートに当たっての今後の市政運営につきましては、引き続き市民の声を大切にしたまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

本年も昨年と同様、本市を取り巻く状況は依然として厳しい状況にありますが、『八街市総合計画２０１５』をもとに、着実に各種

施策を推進することによりまして、将来都市像としての『ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた』の実現に向けて取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

それでは、平成３１年度の当初予算における、主要事業の概要につきまして説明いたします。まず始めに、『便利で快適な街』のための主な施策についてでございます。

榎戸駅につきましては、去る１月１７日に竣工式典を実施し、２１日から供用開始となりました。本市の悲願でありました榎戸駅の橋上化、東西自由通路の新設等により、榎戸駅の利便性は格段に向上することとなり、市民の皆様にとって大変使いやすい駅になったものと考えております。ここに改めまして、建設にご尽力いただきました榎戸駅周辺地区の皆様をはじめ関係各位に対して、深く感謝の意を表する次第でございます。なお、旧駅舎の撤去、西側駅前広場の整備などが残ってはおりますが、早期完了に向けて、引き続き努力してまいりたいと考えております。

八街バイパスは、全線開通まで残すところ国道４０９号から大木地先までの約５００メートルとなっており、今後千葉県では、２０２０年度の開通を目標に事業を進めておりまして、既に一部工事に着手しています。また、現在、暫定２車線で供用しております区間につきましても、早期に４車線化が図れるよう努力してまいりたいと考えております。

国道４０９号住野十字路交差点改良につきまして、千葉県では、２０２１年度から２０２３年度までの間に開通できるよう事業を進めていく予定となっております。昨年１１月には私も



出席して地元説明会を開催しており、地権者等の基本的な合意も得られていることから、早期に事業が進捗するよう、今後も強く働きかけてまいりたいと考えております。

佐倉インターチェンジへのアクセス道路の整備については、平成３１年度の予算に、千葉県が行う認可取得のための負担金を計上しました。県道神門八街線は、八街市から佐倉市街地方面へ東西を結ぶ主要幹線として、また、佐倉インターチェンジへ接続するアクセスとして、以前から本市道路整備の主要な課題でもありました。佐倉第３工業団地内の整備が完了している佐倉都市計画道路３・４・２０号岩富・海隣寺線を八街方面に延伸し、さらに八街都市計画道路３・４・３号八街・神門線を整備し接続することができれば、県道神門八街線のバイパスとして、渋滞解消、歩行者の安全確保と共に、周辺地域の活性化にも資するものと考えております。県道神門八街線バイパス整備につきましては、佐倉市、八街市の共通する地域課題として認識を共有しておりますので、佐倉市と連携をとりながら引き続き千葉県に要望してまいりたいと考えております。

これからも市民生活や産業活動を支える道路等につきましては、交通需要や渋滞箇所を把握する中で、計画的な整備を進めてまいります。

次に『安全で安心な街』のための主な施策に

ついてでございます。

災害は、いつ発生するかわかりませんし、災害の規模によっては、道路の寸断や救助・救援要請の集中により、行政機関による救助活動等の早期実施が困難となることが想定されます。このような事態が発生したときには、それぞれの地域内で協力して、お互いの命や財産を守る共助の意識が大変重要となります。このことから、市では、自主防災組織の設立について地域に呼びかけているところでございまして、平成３１年度には新たに５カ所の設立を見込んでいることから、必要な資機材等の支援をすることといたしました。これからも地域の防災対策には、地域住民の皆様の協力が不可欠でございますので、積極的に自主防災組織の設立・強化に努めてまいります。

防災対策として、市役所庁舎の改修等につきましては、平成３０年度に庁舎の耐震化を実施し、防災拠点としての機能強化を図ったところでございます。平成３１年度につきましては、引き続き第２庁舎の解体工事を予算計上いたしました。

次に『健康と思いやりにあふれる街』のための主な施策についてでございます。

子育て支援にかかる平成３１年度の主な事業でございますが、まず児童館につきましては、今年度に土地の測量、基本設計を実施したところでございまして、この基本設計をもとに去る１月４日から２月３日にかけてパブリックコメントを実施いたしました。平成３１年度には、パブリックコメントの結果等を参考に実施設計業務を行い、その後、建設工事に着手して、２０２０年１２月に供用開始できるよう準備を進めてまいります。子供たちが地域のなかで自由に遊び、安全に過ごすことのできる居場所とともに、生きる力を創出する交流・体験を通じて、情操を豊かにするための活動拠点となることを期待しているところでございます。

朝陽学区における児童クラブにつきましては、現在、第一から第三までの３児童クラブで合計９０名を定員として運営しておりますが、既存施設の老朽化や、小学校から児童クラブまでに距離があり交通事故等の危険があることなど、この解消が課題となっていたところでございます。このことから、平成３１年度予算では、朝陽小学校の余裕教室を活用し、定員を９０人から１００人に増やした新たな児童クラブを整備する予定でございまして、本年１２月の開設を目指して準備を進めてまいります。その他、老朽化している交進保育園の屋根を改修するための工事費等を計上したほか、私立小規模保育事業所の新設に対する助成も実施いたします。

高齢者福祉の充実として、まず、老人福祉センターにつきましては、本市地域防災計画において、福祉避難所の指定を予定しており、年度内に指定するため準備を進めております。一方、この施設は、昭和５３年に開館し築４０年となることから、施設全体が老朽化しております。このことから、高齢者の皆様の集いの場所である老人福祉センターの長寿命化と、福祉避難所としての施設整備とを併せて図るため、大規模改修を実施することといたしました。平成３１年度に実施設計、翌年度に改修工事を実施できるよう準備してまいります。なお、南部老人憩いの家につきましても、空調設備を設置・更新して、施設の利用環境を整備いたします。

高齢化の進展に伴い、高齢者サービスの

需要はますます高まっている一方、デイサービスやショートステイなどのサービスを提供できる施設は限られているのが現状でございます。支援を必要とする高齢者や家族の要望に応えるため、小規模多機能型居宅介護事業所の建設に対して助成し、サービス体制の充実を図ってまいります。

次に『豊かな自然と共生する街』のための主な施策についてでございます。

けやきの森公園については、美しい自然を活かした市民の憩いの場とともに、本市防災計画において避難場所として指定されていることから、今年度は、国道４０９号からの進入路拡幅工事と、防災用井戸の設置工事を実施しているところでございます。平成３１年度につきましては、一層の防災機能の充実を図るため、ＬＥＤ園路灯の整備と共に、北側道路の拡幅及び駐車場を整備するための経費を計上いたしました。

市営住宅につきましては、一番新しい長谷団地でも、建設から３０年以上が経過しており、建物の老朽化が進んでいます。安全で快適な住まいを長期間にわたって確保するため、予防保全的な観点から修繕や改修の計画を定めた本市公営住宅長寿命化計画に基づき、平成３１年度では長谷団地の外壁の塗り替え、九十九路団地の屋上防水工事を実施いたします。

次に『心の豊かさを感じる街』のための主な施策についてでございます。

まず、学校教育施設の整備についてでございますが、新年度予算とは直接関係しないものの、小中学校空調設備の整備については、平成３１年度中に全教室に設置することで、既に平成３０年度予算で計上済みでございます。子供たちや父兄の皆様も非常に関心の高い事業でございますので、平成３１年度中に、この計画を着実に履行できるよう努力してまいりたいと考えております。併せて、八街中学校の屋内運動場の非構造部材の吊り天井の撤去、その他非構造部材の耐震改修等の工事を実施いたします。

学校教育の充実についてでございますが、本市ではICTの特徴をより活かした学習を可能とするため、パソコン教室の既存デスクトップパソコンを、機能的に優れ軽量で持ち運びも可能なタブレット端末に更新しています。平成２９年度に市内小中学校１３校のうち７校を更新したところでございますが、平成３１年度には、残り６校につきまして、同様にタブレット端末に更新するための経費を計上いたしました。これにより市内全ての小中学校にタブレットが導入されることとなりますので、学習環境の改善とともに、子どもたちの学力向上に繋がることを期待しているところでございます。

社会・経済環境の変化に伴い、共働きなどで親が日中留守にする家庭世帯等が増えています。本市では、放課後や週末に子供たちの居場所をつくるため、児童クラブの充実を図っているところでございますが、併せて、小学１，２年生を対象に、放課後子ども教室を開設し、子供たちの放課後等の居場所づくりと、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動など、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めております。平成３１年度では、川上小学校と朝陽小学校に放課後子ども教室を開設するため、準備を進めてまいります。

市民マラソンは、最近の市民の健康指向とともに、自治体のＰＲも兼ねて多くの大会が開催

されています。本市におきましても、八街市内での開催に向け、市民有志が大会実行委員会を立ち上げて、その実現に努力をしていただいておりました。昨年末には、私が実行委員会の皆様と共に小出義雄氏宅に出向き協力をお願いしたところ、八街市でのマラソン大会開催に全面的に協力するとともに、小出氏の名前を冠した大会名とすることにつきましても快諾いただいたところでもございます。この大会は市民の側から八街市の活性化等に繋がるイベントとして開催が持ち上がったものであり、八街市のＰＲも兼ねた大変有難いイベントでございますので、市としても実行委員会、教育委員会と連携して、「小出義雄杯八街落花生マラソン大会」が、盛大に開催されますよう支援・協力してまいりたいと考えております。

図書館につきましては、平成３年の開館以来、時間の経過と共に老朽化が進んでいます。また、図書館は学習等の場として多くの市民の皆様に利用いただいておりますが、現状は、空調の不具合等により、落ち着いて勉強や読書などに集中できる環境にはなく、図書館としての機能が十分果たせているとは言い難い状況にあります。特に昨年夏の猛暑時には、市民の皆様に大変なご不便、ご迷惑をおかけいたしました。このことから、平成３１年度では、カーペットの張り替えとともに空調設備を更新することによりまして、図書館内の環境整備を図ってまいります。

次に『活気に満ちあふれる街』のための主な施策についてでございます。

地域の賑わいは、農・商・工業のバランスのとれた産業の活性化が必要不可欠でございます。特に本市では農業を基幹産業と位置づけており、落花生、生姜、人参、里芋、西瓜などの農産物はもとより、農産物から派生した商品を加工・販売する工場、商店などにより賑わってきた街でもあることから、農業振興は、本市活性化にとって大変重要な課題であると認識しています。

また、本市は北総台地の中央に位置し、気候も温暖で、野菜の栽培に適した広大な優良農地を有しているため、古くから首都圏に近接する生鮮野菜等の供給基地として発展してまいりました。しかし、現状は、農業後継者の減少や農業従事者の高齢化等により農産物の生産を支えてきた優良農地の荒廃が進んでいます。そこで、耕作放棄地の解消に貢献する担い手で、農地を集積し、経営規模の拡大を図る意欲のある農家に対し、農産物の生産出荷に必要な農業機械等の整備を支援してまいります。また、農家からの多種多様な相談に対して、千葉県農業者総合支援センターと連携を図りながら、農家に対する支援に積極的に取り組んでまいります。

昨年の落花生まつりには、森田千葉県知事をはじめ多くの来賓をお招きして、落花生の新品種Qなっつのお披露目とともに、八街生姜ジンジャーエールやその他の農産物等の試食・販売も併せて実施したところ、大変盛会裏に終了することができました。平成３１年度では、昨年の落花生まつりを検証し、反省を踏まえた上で、さらに内容の充実を図って実施するため、必要な予算を計上いたしました。今後も継続して実施することによりまして、八街市の目玉イベントとして定着させてまいりたいと考えております。

以上、平成３１度の主な施策につきまして説明させていただきました。今後もより良いまちづくりの実現のため努力してまいります。

八街ロータリークラブの皆様におかれましても、引き続き、本市の市政運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、八街ロータリークラブの益々のご発展と本日ご出席の皆様のご多幸をご祈念申し上げまして、講演を終了とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。



広報･公共イメージ向上委員会　･高橋 宏一・川崎 尭信 ･鈴木 慶夫